

5S活動の推進と再評価

～コロナ禍での5S～

施設名：介護老人保健施設 あけみおの里

発表者：仲西千春

大嶺麻美

比嘉優子

【はじめに】

当施設では5S活動を推進しており、去年より活動を続けているが、コロナ等により活動が制限されていたりと、居室では物が乱雑におかれていたり、壁紙や汚れていたり、整理整頓が出来ておらず、再度、利用者様にとって悪影響な環境をもたらせている為、気持ちのいい生活を送れる様、周辺環境の改善をしていく事に取り組んだ。

【目的】

周辺環境の清潔の保持
職員への5S活動の意識向上と継続を図る。

【方法・経過】

- ①利用者の改善前の壁紙やタンス等の撮影
・整理整頓がされていなく、壁紙の汚れ等が目立つ居室の撮影を行う。
- ②壁紙の拭き掃除、周辺の整理整頓を実施
・壁紙の汚れは経管栄養の飛び散りが主な為、熱湯で拭く。タンスの中、上等の整理整頓を行ない、拭き掃除を行う。
- ③アンケートの実施
・清掃前と清掃後の写真等を見せ、アンケートを行う。
・各スタッフの5S活動は不十分だと思う場所を確認する。
- ④アンケートの集計
・アンケートの集計の結果を各職員にみてもらい周知する。

【結果】

介護スタッフだけではなく、清掃員の協力により壁紙やタンス、ベッドの清掃を行う事が出来たが、感染隔離等の物品を完全に片付ける事が出来

てなく、汚れたタオルや洗濯物が置かれた状態にある。

今後も周辺環境の清潔保持と5S活動の意識向上に努める活動を継続していく必要がある。

【考察】

5S活動を推進しているが、その日の業務の状況によっては、清掃・整理・整頓・清潔が出来ない日もある為、固定日は作らず空いている日時を利用し、活動を促進していく事が望ましく、また他職種への協力を求め職員一人一人の意識向上に努めることが重要である。

【まとめ】

今回の活動を通して、5S活動の重要性を再確認にし、限られたスタッフでも安心して療養できる環境と労働できる環境を継続できる様に支援していく。